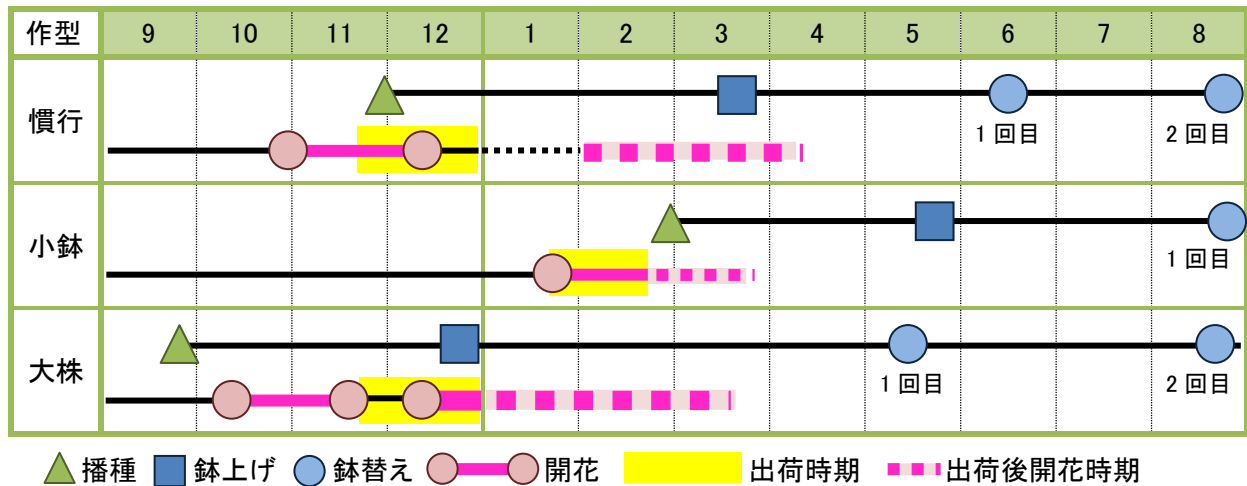


特性を活かした芳香シクラメンの栽培技術

芳香シクラメンは、四季咲きの特性など従来の園芸品種とは異なる特性を有しています。このような特性を活かす作型の確立を目標に取り組んだ結果、播種期を慣行より3ヶ月ほど遅く播種することにより、バレンタイン需要に合わせた小鉢生産が可能であることが明らかになりました。また、慣行より1~2ヶ月早く播種することにより、開花期の延長や開花数の増加も期待できます。

【芳香シクラメンの慣行作型と新作型】



2月7日撮影 新作型（小鉢）



孤高の香り 香りの舞い 麗しの香り

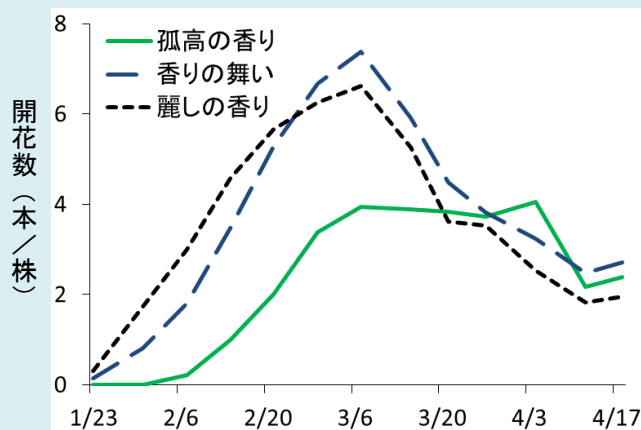


図1 3ヶ月遅播きした場合の芳香シクラメンの開花状況
(2月下旬播種、仕上げ鉢:3.5号)

12月18日撮影「香りの舞い」



慣行作型 新作型（大株）

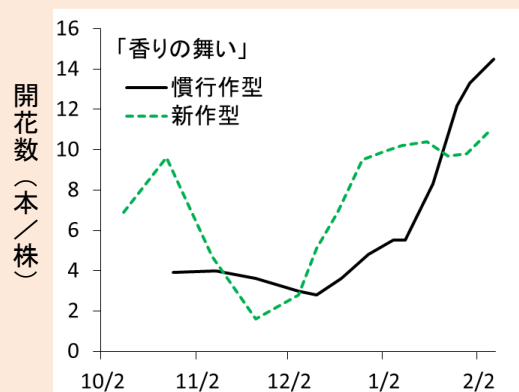


図2 1~2ヶ月早播きした場合の芳香シクラメンの開花状況 (9月下旬播種、仕上げ鉢:慣行作型5号、新作型6号)